

経営改善計画書(令和5年度～令和7年度)

団体名	公益財団法人鳥取市環境事業公社
-----	-----------------

様式2

現状と課題	下水道の普及に伴うし尿や浄化槽業務の減少、産業廃棄物の処分料金の高騰など、当公社を取り巻く経営環境が厳しくなる中で、安定した収入を確保し、経費削減等により経営基盤の強化に努め、積極的に公益目的事業を推進し、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上等に寄与するためにサービスの向上を図ることが当公社の課題であると考えています。
経営方針 (令和7年度目標)	公益性を堅持し合理的かつ効率的な運営に留意し、健全経営に努めます。また、職員研修に力を入れ、職員一人一人の資質の向上を図ります。

視点	7年度目標 (期間内の 最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント（経営改善効果）	市担当課コメント					
			取組内容	目標値	取組状況	実績値							
経営改革 （財務面での長期見直し）	経常収支比率 105%	5年度	・新規顧客の開拓等により、直営事業収入の落ち込みを抑えます。 ・効率的な収集ルートの見直しを適宜行い、費用の圧縮を図ります。 ・業務の効率化、支出の見直し等による経費削減の取り組みを進めます。 ・し尿収集及び浄化槽の管理清掃において年々対象世帯数の減少が見られるほか、浄化槽の設置基数は下水道接続に伴い減少している中、未契約先や清掃を行っていない浄化槽設置者に対し啓発活動を行い、契約基数、清掃件数の現状数量の維持に努めます。 ・有機質肥料「土壌」の積極的な販路拡大を図ります。		・顧客の開拓、契約料金の見直し等を実施した。また、前年度に新可燃物処理場のトラブルにより減額していた契約料金を正規の額に変更した。 ・新可燃物処理場の本稼働に合わせて、新ルートによる収集を開始した。	事業ごみ収集運搬事業収益 前年対比19,203千円の増	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。 状況を見ながら、より効率的な収集ができるよう適宜ルートの見直しを行いたい。	浄化槽維持管理及び清掃実績は、使用者数と連動するため今後も減少が見込まれる中、有機質肥料「土壌」の販売実績が年々増加しており、計画通りに運営が行われている。					
					・浄化槽の保守・清掃を促すための啓発活動を行った。	浄化槽 維持管理 1,312件、 清掃 2,291件	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。 令和6年度より社内に検討委員会を設置し、販路拡大等について検討を行う。						
					・有機質肥料「土壌」の販売を行った。	販売実績 162t							
		6年度			・廃棄物の効率的な収集のためのルートの見直しを実施した。		今後も状況を見ながら、より効率的な収集ができるよう適宜ルートの見直しを行いたい。 下水道への接続等により浄化槽の件数は減少傾向にあるが、引き続き啓発に取り組んでいきたい。						
					・浄化槽の保守・清掃を促すための啓発活動を行った。	浄化槽 維持管理 1,211件、 清掃 2,254件	会員制による優待価格での販売等、営業努力により販売量は前年度より増加した。次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。						
					・営業活動等により、有機質肥料「土壌」の販路拡大を図った。	販売実績 213t							
		7年度											
					・廃棄物の効率的な収集のためのルートの見直しを適宜実施した。		今後も状況を見ながら、より効率的な収集ができるよう適宜ルートの見直しを行いたい。 下水道への接続等により浄化槽の件数は減少傾向にあるが、引き続き啓発に取り組んでいきたい。						
					・浄化槽の保守・清掃を促すための啓発活動を行った。	浄化槽 維持管理 1,182件、 清掃 2,194件	キャンペーンの実施等、営業努力により販売量は前年度より増加した。次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。						
			・営業活動等により、有機質肥料「土壌」の販路拡大を図った。	販売実績 286t									
組織改革 （組織見直し、人材育成）	各業務における 必須資格取得の 完備	5年度	・体系的な職員研修計画に沿った研修を行います。 ・職員が業務に係る関連法令等の認識を深めることによる適正な処理、顧客への説明を推進すべく積極的な研修の実施を行います。 ・廃棄物の収集運搬業務に従事する女性職員を採用し、女性が活躍できる職場を目指します。	職員1人当たり年間8時間 年間20名 女性職員採用8人以上	・計画に基づき、職員研修を実施した。	延べ1,173人	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。 女性職員残り1名については、引き続き募集を行う。また、下水道施設等の維持管理事業についても女性職員の募集を行う。	職員の研修機会が大幅に増加したこと、女性職員の採用が毎年計画的に行われた。順調な人材育成と市民サービスの向上が益々期待される。					
					・計画に基づき、職員研修を実施した。 ・年度途中で退職した女性職員1名に対する欠員補充も含め、廃棄物収集運搬業務に従事する女性職員2名の採用を行った。	延べ768人 採用2人	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。 収集運搬に従事する女性職員は予定人数に達した。今後は他部署も含め男女問わず採用を行う。						
					・計画に基づき、職員研修を実施した。 ・下水道処理施設の運転業務に従事する職員を含め、女性職員3名の採用を行った。	延べ1,600名 採用3人	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。 引き続き、男女問わず採用を行う。						
		6年度											
					7年度								
		公益増進 （顧客サービスの向上、社会貢献）					5年度		・研修等により職員の資質向上を図り、サービスの向上に繋がるように取り組みを進めます。 ・福祉・医療施設への車椅子等の提供を行います。 ・ホームページやSNS等を活用し、積極的な情報発信に努めます。	年3台	・全職員を対象に、職階別研修等を行い、職員の資質向上に努めた。	全職員が参加	次年度以降も計画的に研修を行い、職員のより一層の意識の向上を図りたい。
					・鳥取市立病院へ車いすの寄贈を行った。						3台	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。	
					・ホームページを都度更新し、情報発信に努めた。						新着情報、内容を適宜更新	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。	
6年度	・全職員を対象に、職階別研修等を行い、職員の資質向上に努めた。		全職員が参加	次年度以降も計画的に研修を行い、職員のより一層の意識の向上を図りたい。									
	・鳥取市立病院へ車いすの寄贈を行った。		3台	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。									
	・ホームページを都度更新し、情報発信に努めた。		新着情報、内容を適宜更新	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。									
7年度	・全職員を対象に、職階別研修等を行い、職員の資質向上に努めた。		全職員が参加	次年度以降も計画的に研修を行い、職員のより一層の意識の向上を図りたい。									
	・鳥取市立病院へ車いすの寄贈を行った。		3台	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。									
	・ホームページを都度更新し、情報発信に努めた。		新着情報、内容を適宜更新	次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。									